令和５年度　上尾市立東町小学校学校経営方針

～「創造」と「挑戦」～

１　はじめに

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となってきている。そのような時代にあってこそ、子供たちが自信を持って自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していくことができるように必要な力を確実に育んでいくことが重要である。小学校では、その基盤となる能力を培うことが重要であり、そのためには教職員一人ひとりが個性を発揮し相互に認め合いながら、全教職員が協働し子供たちに関わり教育活動を推進する必要がある。

本校は昭和５２年の開校し、今年４７年目を迎えた。これからも本校のよき伝統を継承しつつ、時代の変化に対応して新たな学校を「創造」し、そして「挑戦」しながら、学習指導要領及び埼玉県教育振興基本計画、上尾市教育振興基本計画等の教育方針に基づき、本校の学校教育目標の達成を目指し教育活動を推進する。

２　学校経営の基本方針

「学校は学ぶ喜びを育むところである」「学校は繋がりを生み出し助け合う喜びを育むところである」「学校は夢を育むところである」を経営理念に、一人一人の児童が学ぶ喜びを実感し、確かな学力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育むために、創意と工夫、行動力あふれる学校づくりを目指す。

そのために「教職員、児童、保護者、地域」が一体感を強め、誇れる学校、信頼される学校を実現する。

３　学校教育目標

「自ら学ぶ意欲をもち、心豊かなたくましい東（あずま）っ子」の育成

（１）目指す児童像

～進んで学びよく考える子、きまりを守り助け合う子、最後までがんばる子、明るい元気な子～

「自ら学ぶ意欲をもち」

〇自分の意見や考えを表現できる子
〇基本的な学習習慣を身に付けた子
〇筋道を立てて、しっかり考え、互いに学び合う子

「心豊かな」

〇気持のよいあいさつや返事ができる子
〇決まりを守り社会の一員として責任を持って行動できる子
〇相手のことを考えて話したり行動したりできる子

「たくましい東っ子」
〇進んで体を動かし元気よく生活する子
〇自分の命は自分で守れる子
〇最後までやりぬく強い心をもつ子

（２）目指す学校像
～児童・保護者・地域から信頼される魅力ある活力に満ちた学校～
① 明るくきれいに環境が整った学校
② 自立する力を培う学校
③ 豊かな心を育む学校
④ 教職員が和を尊び、教育力を結集して向上する学校

（３）目指す教師像
～プロとしての誇り、確かな指導力と人間力～
① 意欲と創造性に満ちた教師
② 深い学びを追求するために学び続ける教師
③ 人間性を常に磨き続ける教師
④ 厳しさと優しさと温かさがあり児童に寄り添う教師
⑤ 危機管理意識の高い教師
⑥ 児童、保護者、地域住民に誠実に対応する教師

４　令和５年度の重点目標

『確かな学力』
（１）学習指導要領の趣旨を活かした学習指導の充実により学力向上を図る
① わかる、できる喜びが味わえる授業実践
② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
③ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の徹底
④ 研究授業を通して、切磋琢磨し共に成長する実践的な校内研修の推進

（２）言語能力の確実な育成（学習の基盤つくる活動の充実）
① 国語科を要としつつ各教科における言語活動の充実
② 語彙の確実な習得、情報を正確に理解し適切に表現する力の育成
③ 読書活動の推進

（３）英語力向上の取組（進んで英語を話せる児童の育成）
① ９年間を見通した英語学習の実施
・１・２年生の「英語活動」、３・４年生「外国語活動」、５・６年「外国語科」
② ＡＬＴアシスト授業の実施（学校生活で生きた英語に触れる機会をつくる）

③ イングリッシュトークの積極的な実施（ＡＬＴと会話をする時間の設定）

（４）無線ＬＡＮ環境やＩＣＴの効果的な活用の推進

① ＩＣＴ端末を活用した授業の工夫

② 新しい生活様式に対応した教育活動の推進（集会、行事、会議、研修等）

③ 教職員のＩＣＴを活用する能力や指導力向上のための研修の実施

④ 情報セキュリティの遵守と管理、情報モラル教育の推進

『豊かな心と健やかな体』

（５）心豊かな児童の育成を目指した教育の推進

① 道徳科を要として教育活動全体をとおした道徳教育の推進

② 相手の立場や気持ちを考えて行動できる思いやりある児童の育成

③ 自己有用感の育成

④ 基本的生活習慣の徹底のためにくり返し指導

⑤ 異学年齢集団による活動の充実

（６）体力向上・運動好き児童の育成の取組の充実

① 日々の体育授業の充実（運動の質と量の確保）

② あずまっピータイム、業間、昼休み等の活用の工夫（楽しく運動する仕組みの工夫）

③ 学校課題研修への主体的参加

『信頼される学校』

（７）いじめへの迅速な対応　　～いじめの見逃しゼロ～

「いじめは絶対に許されない」、「いじめは卑怯な行為である」、「いじめはどの子供にも、どの学校でも起こりうる」との意識を持ち、最優先課題として捉え、組織で迅速に対応する。生徒指導上の課題について、共通理解・共通行動の実践

（８）特別支援教育の推進

① 特別支援学級の児童との交流及び共同学習の推進

② 通常学級における特別支援教育の視点に基づいた教育の推進

・互いを認め合える人間関係を大切にした学級経営

・特別支援教育の視点に立ったきめ細かい指導の充実

・学習の環境づくり

・意欲を引き出す授業実践

・アッピースマイルサポーターとの連携

・上尾特別支援学校との交流活動の推進

（９）家庭、地域と一体となった教育活動の充実

① 地域、幼・保、小、中の連携活動の機会の推進（小中一貫教育の推進）
② 地域の教育力（施設・人材）の積極的な活用
③ 学校応援団の活動の充実
④ 家庭学習の推進と定着
⑤ ホームページの整備とさくら連絡網の活用

（１０）安心・安全な学校づくりのため教育環境の整備と活用・防災意識の高揚

① 実効性のある避難訓練の実施
② 大規模地震時における対応、避難体制の確立
③ ＰＴＡ・学校応援団・おやじの会・地域の協力を得て、防犯・教育活動・環境整備の推進
④ 交通事故ゼロを目指し、交通安全指導・ヘルメット着用の啓発